人と暮らし
環境に優しい
福祉社会の実現

ふくいろうふく

改装第20号
2006年6月25日発行
発　行　福井県労働者福祉協議会
　　福井市問屋町1丁目35番地
電　話　0776－21－5929
編　集　機関紙編集委員会
発行人　吉田哲夫

さらに幅を広げ活動を充実させよう!!

第四四回定期総会で方針確認

去る五月三十日労福協第四四回定期総会が開催され、新規活動を含めたこの一年間の活動報告と決算内容が承認された後、向う一年間の活動方針が満場一致で確認されました。社会全般の福祉に対する期待が膨らむ中、私たち労働者福祉のあり方も創意工夫が求められている時代であり、本総会はある意味で節目であったとも言えます。また任期を終えて退任する龍田副会長兼事務局長の後任には吉田哲夫氏（ＵＩ・ゼンセン同盟出身）、さらには川﨑周市氏（北陸労働金庫出身）が副会長に選任されました。

この一年間の活動報告

この一年間の活動が報告されました。昨総会において提案された方針がほぼ百パーセント実行されたことが中心でしたが、新しく加わった事案もありました。

○事業団体役職員研修

半世紀以上の歴史を持つ労働金庫をはじめ、他の事業団体も四十年を数えるに至っています。これらの歴史はある意味で横の連携を薄める作用を生む可能性を秘めていることから、今一度の再認識を目的とした研修会を開催しました。全事業団体の関係者全員を対象としたものでした。

○世界見聞ツアー

広く他の国も見聞してもらうべく、初めてのツアーを実施しました。限られた日程の中では目的達成には不充分な感もありますが、初回としてマラッカ海峡を中心として見聞を広めました。

なお副次的には旅行センターの業績拡大の意義もあります。

以上の外二年目に入った〝くらしなんでも相談事業〟や、進行中の〝グレ・サラの金利引下げを求める活動〟等多くの活動が報告されました。

新年度の活動方針

○政策・制度の改善

毎年実施してきた県・市町に対する政策・制度の改善を求めて自治体訪問や知事懇談会を行います。これとは別に、クレ・サラの金利引下げを求める地方議会での意見書採択を求めての陳情も実施されています。

○自主福祉事業の強化・発展

私たちが自ら運営している自主福祉事業の各団体の基盤強化等を進めることとしています。そのため昨年に続いて関係者への研修参加を求めていきます。また未組織の労働者への呼びかけも課題としています。

○各分野の事業展開

文化・体育・研修等

多岐に亙る分野ですが、くらしなんでも相談は次年度以降の実施方法の試金石としての年ともなります。

新規となる男の料理教室、退職目前の人を対象としたセミナー等男性、高齢者に目を向けた内容を取り入れています。

○組織関係

連合福井の地域協議会の再編、諸相談に対して素早く解決を目指すための〝ワンストップサービス機構（仮称）〟を設置する準備に入ることになります。

さらに公益法人格を持つ事業団体の会計事務の共同化を本年度中に実施させます。加えて事業の共同化も視野に入れた協議を開始することになります。

これらの事業達成に向かって役職員が鋭意努力します。

龍田副会長退任、新副会長に吉田、川崎氏

本年度は任期満了による役員の改選期にあたり、馬場会長の再任の外新役員体制となりました。六年七ヵ月務めた龍田清成副会長が退任し、新たに吉田哲夫、川﨑周市氏が就任しました。

新 役員名簿

役職	氏名	選出団体	備考
会長	馬場　修一	連合	再
副会長	吉田　哲夫	員外（専従）	新
〃	荒谷　一井	労働金庫	再
〃	毛利　利夫	全労済	再
〃	松本　昌三	連合	再
〃	川﨑　周市	員外（専従）	新
事務局長	吉田　哲夫	副会長兼務	新
幹事	朝倉　明哉	連合	再
〃	久保　主計	連合	新
〃	坂本　卓也	連合	新
〃	中村　俊哉	連合	再
〃	福田　正人	連合	再
〃	牧野　恭英	連合	再
〃	坪内　佳久	連合	再
〃	今田　文尚	連合	新
〃	岩崎　真次	連合	再
〃	本儀　皇康	労働金庫	新
〃	藤川　武夫	県民生協	再
〃	峯田　則雄	労信協	再
〃	佐々木　哲男	勤住協	再
〃	田中　　一	旅行センター	再
〃	山崎　清澄	労働福祉会館	再
監事	斎藤　重範	連合	再
〃	成田　正一	全労済	再

（2006年5月30日～2008年5月総会まで）

税務研修会開催します

例年行っている税務に関する研修会を次のとおり開催します。

義務は当然果たさなければなりませんが、不安な納税はしていないか、研修でしっかり修得しましょう。案内は組合へ送付しています。（個人の参加も可）

日時　7月10日 13時30分
場所　ユニオンプラザ福井
講師　小酒井　雄三 税理士

夏休み特別企画

いつもご愛顧ありがとうございます。
さてさてユニオン夏企画
第1弾 発表します!!

7月−8月
北海道 とびっきりの夏浪漫 4日間
北海道満載 見どころをつかんで夢いっぱい♥
■代金　お一人様57,000円～89,000円

7月−9月
世界自然遺産知床と秘境・秘湯探訪 3日間
知床五湖
手つかずの原生林の中に点在する大小5つの湖の総称。このコースでは知床の秘境岩尾別温泉に宿泊。トドワラや釧路湿原ノロッコ号乗車で自然を満喫できます。
1度は訪れたい!!
■代金　お一人様68,800円～126,800円

山と高原の宿　ホテルグリーンプラザ白馬
北アルプスの山並に映える赤い三角屋根の北欧風リゾート。
大自然に抱かれた休日が過ごせます。

カブトムシ&クワガタ探索ツアー
（7月29日(土)～8月5日(土)）
■雨天中止16:00～17:00
3歳以上
おもしろ家ぞぱっくイベント
★懐かしの縁日★白馬の星空
★木工体験（コルチナ工房）
★キッズルーム開放
★おもちゃ湯（大浴場）
■代金　お一人様7,800円～20,800円

お問い合せは
社団法人 福井県勤労者旅行センター
ユニオントラベル福井
〒918-8231　福井市問屋町1-35
TEL:0776-21-2312　FAX:0776-26-3982

新しい制度に応募して下さい

この助成制度は、「福井県民生協社会貢献活動基金規則」に基づき、福井県民生協の毎年の剰余金（利益）の一部を使って、県内の公益的社会活動に取り組むNPOや市民団体の活動や育成を資金面で支援する制度です。NPO等とのネットワークを図るとともに、より良い地域社会づくりに貢献するために、2006年度よりスタートする制度です。

2006年度 福井県民生協 市民活動助成金応募要領

Ⅰ.応募資格要件

（1）福井県内を主たる活動の場として、社会公益的な活動をしていること。
（2）法人の有無、他から助成を受けているかどうかは問いません。営利、宗教、政治や趣味などの団体は除きます。
（3）定款または会則・規則があり、決算報告または収支報告があること。
（4）福井県民生協組合員が最低１名以上参加していること。

Ⅱ.助成対象の活動のテーマ（分野）と使途基準

（1）分野
　① 食育活動分野
　② 環境リサイクル活動分野
　③ 福祉ボランティア活動分野
　④子育て支援活動分野
（2）使途基準
　①活動・事業に要する運営費用の一部
　②目的をもった物品の購入費用の一部
　③活動・事業立上げに要する費用の一部

Ⅲ.助成金額

（1）2006年度助成総額100万円。
（2）1団体への助成金額は10万円を上限としますが、応募数や事業規模により申請額より少なくなる場合もあります。
　※生協サークル・グループとの2重の助成は受けられません。

Ⅳ.応募期間と受付

（1）受付期間
　6月13日（火）～7月30日（日）
（2）提出先
　福井県民生協の組織ネットワーク推進部
　または最寄の店舗ハーツ、共同購入センターにご持参いただくか、郵送またはHPからでもご提出いただけます。

Ⅴ.応募の制限

（1）1団体1分野での申請に限ります。
（2）育成支援やより多くの団体への支援の意味から助成期間は最高2回とします。

Ⅵ.応募方法

福井県民生協所定の「市民活動助成金申請書」に必要事項を記入の上、下記の添付書類を添えて申請してください。
（HP上からも取得できます）
　① 申請書（指定の書式）
　②活動計画書（指定の書式）
　③ 団体に関する概要（指定の書式）
　④ 定款または会則・規約等
　⑤前年度のまとめ・決算報告書と今年度の計画・予算書
　⑥団体の概要や活動が分かる資料（パンフレット・写真・会報等）
　※ 申請書類等はお返しいたしません。

Ⅶ.選考方法と決定交付について

（1）8月開催の組合員代表（理事）を含めた社会貢献基金運営委員会で選考を行います。必要に応じて、団体へのヒアリングを行います。
（2）9月助成団体の決定を行い、覚書締結後、助成金を振り込み致します。
（3）翌年活動報告の提出や成果発表をお願いします。
（4）覚書に違反した場合、助成金の返還を求めることがあります。

【お問い合わせ先】
福井県民生協　組織ネットワーク推進部
〒910-8557　福井市開発町2−1−1
TEL0776-52-8460　FAX0776-52-2030
ホームページ:http://www.fukui.coop

全労済通信

マイカー共済パワーアップ

全労済福井県本部が今年、創立45周年を迎えました。
事務局では、様々な企画イベントを用意しておりますが、６月からの「火災・自然災害共済キャンペーンに連動して、風神・雷神をポイントに「特製うちわ」を製作しました。
台風シーズン前に確かな保証を確立しましょう。

お問い合わせは、
全労済福井県本部
0776-26-6123まで

全労済のマイカー共済が8月より制度改定を実施し、さらにパワーアップします。

①自転車賠償責任補償特約
自転車事故により人をけがさせたり、他人の財物に損害を与え、法律上の損害賠償を負担した場合に補償します。

②子供運転年齢条件の新設
子供専用の年齢条件を設定することで、元々の運転者年齢条件を変更せずに、子供を補償の対象に追加できます。

③オールリスクワイドタイプの新設
車中動産盗難補償特約を付帯することにより身の回り品の盗難による被害を30万円（自己負担額１万円）を限度に補償します。

④盗難防止装置装備車割引の新設
車両補償の共済掛金を５％割引します。

※詳しいパンフレット等のお問い合わせは、
全労済福井県本部
0776-26-6123まで

ワンストップ機構設立を急ごう!!

中央労福協全国研究集会

毎年の事業である中央労福協主催の全国研究集会が、六月九・十日の二日間札幌市において開催されました。毎年テーマは変わりますが、今回はその設立を目指している〝ワンストップサービス〟（名称は仮称）のあり方についてが中心となりました。福井からは労福協、労金、労済から計四名が参加しました。

初日は講演

九日は午後から始まり、全国から参加した二八一名を前に、二人の講師からの講演でした。

日本総合研究所会長　寺島　実郎氏
［世界潮流と日本―企業及び労働組合の進路］

早稲田大学教授　岡沢　憲芙氏
［二一世紀型福祉社会の構築―少子高齢社会にどう対応するか］

二日目はディスカッション

十日はワンストップサービスづくりのための手法等の議論に入りました。

まず中央における四団体協議を進めている連合、労金協会、全労済、地域創造ネットワークの代表による各々のスタンスが出されました。

次に既に発足している石川、静岡、山口、沖縄の各労福協から、設立に際しての手法と現状の報告があり、各県における準備を進めることを確認して散会しました。

全国研修感想記

6月8日～9日札幌で開催された、労福協全国研修会に参加しました。

中でも、早稲田大学岡田憲芙教授の基調講演「21世紀型福祉社会の構築―少子高齢化にどう政策対応するか」は実に意義深いものがありました。

――少し大きめの地球儀を買って、それをながめながら、世界を考えて見ると、見えてくるものがある。第2次大戦後、世界の国家は40～50ヶ国だったのに、今は200以上ある。相互依存は大きく高まっている。東西のカベも、あんなに簡単に崩壊するとは、誰も思わなかったはずだ。だから、常識と非常識は時と共に反転するものだ。日本の常識は世界の非常識と思え。この様な視点で、少子高齢化の21世紀を考えてみると、国家も、組織も、意志決定課程を多様化させなければならない。つまり、次世代育成議論には、もっと多くの女性や若年者を参加させる必要があるのではないだろうか。スウェーデンでは52％が婚外子だが、日本では1～2％だ。これは事実婚と法律婚の問題だけなのだ。つまり、常識にとらわれていては、少子高齢化には対応できないのではないだろうか。あなたの勤勉仲間の失業!!休まぬ者働かざるべし!!――という様な内容でした。

これからの福祉社会を構築して行くべき私達「労福協」の大事な道しるべを示していただいた様な思いでした。

吉田　哲夫　記

三五〇〇家庭を提供しました

勤住協が四五周年感謝のつどい

労福協の会員である勤労者住宅協会が誕生して四五年。その当時は持家率も低く、〝家つきカーつき○○抜き〟なんていう流行言葉の時代でした。以来安くて良質の住宅を提供することをモットーに県内各地で事業を手がけ、各自治体の協力も得て、二七二〇戸の住宅と六四九区画の土地を提供し、皆さんから親しまれてきました。去る六月七日、これまでの協力に感謝の意を込めて四五周年の集いが開催され、関係者約百名の臨席のもと、和やかな集いとなりました。

ただとりまく環境と将来を察知するとき、元気のある中での見極めが重要であるとの判断から、来年三月で解散するという方向が出されており、文字どおり最後となる集いでもありました。

協力会が解散

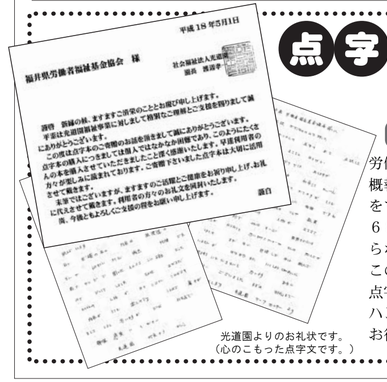
勤住協の営業努力もさることながら、その陰には関係会社の存在抜きにして今日は有りませんでした。永年協力会会長を務めてこられた木原建設の木原会長はあいさつの中で、〝喜びも辛さも分かち合ってきた〟とこの間の想い出話をされ、決して順風満帆でなかったことを伺わせました。

そしてこの集いをもって協力会の解散式ともなりました。

改めて各企業の皆さんに感謝申し上げるものです。

点字図書ありがとう！

光道園より礼状届く



光道園よりのお礼状です。
（心のこもった点字文です。）

労働者福祉基金協会の事業として（前号概報）昨年度より公的施設に図書の贈呈をすることになりましたが、３月末に６８冊を贈呈した光道園からお礼状が送られてきました。渡辺孝一園長名の外、この図書を利用する入園者の方々からも点字で印した二通が届きました。大きなハンディを持たれる皆さんへ、少しでもお役に立つことを願うものです。

六月議会で採択を!!

クレ・サラ金利引き下げで陳情

先月号でもその概要を報告しましたが、〝グレ・サラの金利引き下げ〟を求める国会請願への包囲を固めるため、自治体議会に対する陳情行動を実施しました。

この行動の輪を広げるために、労福協から県司法書士会に呼びかけ、共同行動することになりました。

五月一六日の福井市を皮切りに、二四日の県議会まで、一八議会を訪問し、意見書採択を要請しました。

今社会で問題視されている事象であり、応対された各議会の議長は理解を示され、各々の六月議会において協議する旨の了解が得られました。六月にすべての議会において採択されることを期待しています。

【陳情事項】

議会において、国会及び政府に対し『出資の受け入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律』（以下、「出資法」という。）及び『貸金業の規制等に関する法律』（以下、「貸金業規制法」という。）について、下記事項の改正を求める「意見書」の提出について採択いただくよう陳情いたします。

記

1．出資法第５条の上限金利を、利息制限法第１条の制限金利まで引き下げること
2．貸金業規制法43条のいわゆる「みなし弁済」規定を撤廃すること
3．出資法における、日賦貸金業者及び電話担保金融に対する特例金利を廃止すること

「楽しく集い」「助け合う」友の会に

ろうきん友の会中央会総会開催

ろうきん友の会中央会は、去る5月29日あわら市において第18回通常総会を開催しました。総会では県内各地域より選出された代議員、中央会の役員を含めて64名の出席のもと、2005年度の活動のまとめや2006年度の活動方針等について積極的な論議が交わされました。

また、総会の開会を前に、全体研修会として劇団『バハーズ』による劇の公演と林団長による講演が催されました。

《ろうきん》への年金振込み一万件を達成するなど大きな成果を挙げている同中央会ですが、いわゆる『団塊の世代』が多くの退職を迎えていくこれからが正念場であり、《ろうきん》の生涯取引の受け皿として同会に求められる位置づけと役割はますます大きくなってきます。

会員が、「楽しく集い」「助け合い」「ろうきんと共に活きる」友の会の実現のために、充実した活動の展開を図っていかなければなりません。

限度額が変わります

《ろうきん》よりお知らせ

《ろうきん》は2006年7月23日（日）より、ＡＴＭ（現金自動預払機）で引き出すことができる限度額を下記のとおり1日あたり50万円に引下げることとしました。

キャッシュカード（普通預金・貯蓄預金）	200万円	▶	50万円
ローンカード	100万円		50万円

この引下げに踏み切った背景には、ここ数年で頻発に発生しているキャッシュカードの盗難・偽造等による不正な引出し被害があり、それらをできるだけ小さく抑えるために全国の《ろうきん》として判断したものです。

※　お引出し限度額には、「振込・振替」「デビットカード取引」「提携金融機関ＡＴＭ」の利用分も含まれます
※　2006年7月22日（土）までにＡＴＭで１日あたりの引出し限度額を200万円未満（ローンカードは100万円未満）に変更された方はこの対象となりません。ご希望の方は事前に手続きされることをお薦めします。
※2006年7月23日（日）以後の引出し限度額の再引上げ（キャッシュカード200万円、ローンカード100万円まで）を希望される方には、ろうきん営業店の窓口でお取扱いさせていただきます。

また、ＩＣカードの導入など不正防止への取組みも進めておりますが、カードを安心してご利用いただくためにご理解をいただきますようお願いします。

ユニオンプラザ短信

◆全国一般労組入館

連合福井加盟産別組合である全国一般労働組合が、六月一五日から入居されました。二階の連合福井の事務所には、二人が専従されており賑やかになります。

◆広島から研修に来館

広島労働会館の役職員十九名の一行が研修の道すがら、当会館に来られました。会館視察のあと県内観光、翌日は岐阜県に向かいました。なおその世話を旅行センターが担当しました。感謝。

◆問屋センター総会

問屋町内約八十社・団体が加盟している問屋センター。その定期総会が五月三一日行われました。現在独自の下水管理をしていますが、間もなく公営下水に切り替えることなどが課題としてあります。

困りごと相談にいらっしゃ～い

今年の第１回目の“くらしなんでも相談”を次の日程で実施します。前年までの例では、１回８会場に５０名前後の来場者をみており、家庭や職場内、個人間の難題について専門家（弁護士等）がお応えしました。組合員やその家族、知人・友人に伝えてあげて下さい。

日程・会場

日程・会場	会　場	住　所
7月　1日（土）10：00～13：00	小浜市勤労福祉会館	小浜市後瀬町1-6
7月　2日（日）10：00～13：00	あいあいプラザ	敦賀市東洋町4-1
7月　8日（土）　9：00～13：00	福井県繊協ビル8F	福井市大手3丁目7-1
7月　9日（日）10：00～13：00	大野労働福祉会館	大野市陽明町4丁目710
7月　9日（日）14：00～17：00	勝山労働福祉会館	勝山市昭和町1-1-9
7月22日（土）　9：00～13：00	越前市労働福祉会館	越前市中央2-5-1
7月22日（土）14：00～17：00	鯖江市懐陽会館	鯖江市桜町2-7-1
7月23日（日）10：00～13：00	北陸労働金庫金津支店	あわら市市姫4-1-18
7月23日（日）14：00～17：00	ハートピア春江	坂井市春江町西太郎丸15-22